



雛 -Hina-

男ばかり3人兄弟の、年の離れた末っ子だった私は、
母からよく赤い服を着せられていた。

ひな祭りの頃には、当然のように古いひな人形を飾り、
お道具を触って一人遊びをしていた。

それが当たり前だと思っていた。

いまでもひな人形をみると、その前でずっと座っていたくなる。
多分、これからさきも、それは変わらないだろう。



貝合わせ

展示物には源氏物語の場面が描かれていた。



御殿雛

西日本はこの御殿雛が主流だったらしい。
京都に来て、十数年経った頃に始めて目にして驚いた。



組み立てるのに1日かかりそう。



鏡台、針刺し、火鉢、台子、重箱、牛車

台子と牛車は無かったなあ。



漆塗り、金彩、金具、組紐
どれもこれも細かい。
引き出しはちゃんと引き出せるし、
扉も開くんだもの。



お椀の並びとか、適当だったなあ。
あ、でも正月にお膳並べてたから、案外あったかも。



こどもの頃は、どうしてこんなものがついているのかと思ったけれど、
こういうので遊んで、いろいろ覚えていくものだったんだろうな。



左側のが、子供の頃飾っていたのに近い。
これにお琴とか、市松さんとか、、、。

三段目の官女は要らない気がする。



箱はかなり古そうだけれど、大事に扱われていたんだろう。
とても綺麗なお雛さんだなぁ。



こちらはかなりボロボロ。
男雛の扱って、こんなものなんだろう。



女雛の冠なんだけど、外して展示してあった。
ひょっとしてサイズ合わない？

ちょっとお顔がきれいすぎるので、首をすげ替えたんじゃないかなって
気がしている。



何度見ても圧倒される。



つるし雛

おそらく、ひな人形なんぞを揃えられない一般家庭で、
その代わりとして端切れなんかを縫い合わせて、手作りしたんだろう。

そういうの大好きだぞ。

いいなあ、これ。







掛け軸もよく見かける。









なんだか懐かしいな。

膝から上のガラス障子のある、八畳間だった。
床の間に壇を組んで、緋毛氈をしいて、お雛さんを飾ったっけ。

男の子だったんだけどなあ、、、。

写真集

「空と雲と、京都の路地は奥に深いです it」 <http://p.looklog.jp/book/82880>
 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」 <http://p.looklog.jp/book/82643>
 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」 <http://p.looklog.jp/book/82160>
 「からくれないに ni」 <http://p.looklog.jp/book/81713>
 「bleu, jaune, vermillon」 <http://p.looklog.jp/book/81111>
 「H.45」 <http://p.looklog.jp/book/80229>
 「Fly me to Paris Ⅰ～Ⅳ」
 「旅王 こけのころも」 <http://p.looklog.jp/book/74864>
 「空と雨と6月と」 <http://p.looklog.jp/book/74060>

小説

「ネガティブズ2」 <http://p.looklog.jp/book/73051>
 「ネガティブズ」

写真集 「空と僕と自転車と ni」 <http://p.looklog.jp/book/72996>
 写真集 「空と僕と自転車と」 <http://p.looklog.jp/book/72092>
 写真集 「空と椿と木蓮と、そして花水木」 <http://p.looklog.jp/book/71344>
 写真集 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」 <http://p.looklog.jp/book/70700>
 写真集 「空と雲と、ときどき春の野をゆく」 <http://p.looklog.jp/book/70137>
 写真集 「空と月と、夜桜デート」 <http://p.looklog.jp/book/69415>
 写真集 「空と木と、ときどきの梅暦」 <http://p.looklog.jp/book/68722>
 写真集 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.looklog.jp/book/65536>
 写真集 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.looklog.jp/book/64153>
 写真集 「空と木とたまに月」 <http://p.looklog.jp/book/62540>
 写真集 「からくれないに」 <http://p.looklog.jp/book/61473>
 写真集 「空と雲と、ときどき月」 <http://p.looklog.jp/book/36294>
 写真集 「夢みる桜」 <http://p.looklog.jp/book/45286>

「黄金の表紙」

1.Lange <http://p.looklog.jp/book/58662>

第1回 ～ 第41回

「黄昏の王因」

イーリアス編 <http://p.looklog.jp/book/49612>

アリシア編 <http://p.looklog.jp/book/51254>

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由 (わけ)」 <http://p.looklog.jp/book/31906>
 「僕と彼女の選択の事由 (わけ)」 <http://p.looklog.jp/book/35498>
 「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった。」 <http://p.looklog.jp/book/3610>
 「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」 <http://p.looklog.jp/book/36617>
 「僕と彼女と複雑な関係者たち」 <http://p.looklog.jp/book/37238>
 「僕と彼女と単純な関係式」 <http://p.looklog.jp/book/37731>
 「僕と彼女と校庭で」 <http://p.looklog.jp/book/38209>
 「僕と彼女と校庭で 夏」 <http://p.looklog.jp/book/38797>
 「僕と彼女のアリア」 <http://p.looklog.jp/book/39286>
 「僕と彼女のインベリション」 (次回)

— その他 —

傘がない <http://p.looklog.jp/book/31906>
 夕暮れの赤ちようちん <http://p.looklog.jp/book/31906>
 いもうと <http://p.looklog.jp/book/31906>
 ナマertime・ブルーズ <http://p.looklog.jp/book/31906>
 危険なドライブینگマジック <http://p.looklog.jp/book/33630>
 デフラグメント <http://p.looklog.jp/book/33116>
 インフルエンス あのころの僕たち <http://p.looklog.jp/book/32752>
 花舞い、名残り雪 <http://p.looklog.jp/book/32187>

銅画集 「ただ憧憧れだけを」 <http://p.looklog.jp/book/34472>

画集 「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.looklog.jp/book/39345>